

日本不妊カウンセリング学会誌

Japanese Journal of Infertility Counseling

2019

Vol.

18

No.

1

第18回学術集会
抄録集



NPO 法人日本不妊カウンセリング学会
Japan Society for Infertility Counseling

NPO 法人 日本不妊カウンセリング学会 第18回総会・学術集会開催にあたって

第18回学術集会 会長 徐 大兼

第18回日本不妊カウンセリング学会総会ならびに学術集会を担当させて頂くことになりましたアキュラ鍼灸院 徐 大兼と申します。今回、鍼灸師として学術集会長を拝命するにあたり、他業種からなる学会員・参加者の皆様にとって実りある学術集会にすることができるのか不安でありましたが、藤原敏博理事長をはじめ関係各位の先生方、また事務局のサポートをいただき、この日を迎えることができました。この場を借りて、お礼申し上げます。

鍼灸といってもどんなことをするのか、どんな時にかかったらよいか、分からない人が多いのではないのでしょうか？現在、鍼灸の年間受療率（1年間で受けた人）は人口の約5～7%と言われており、身近にありながら、まだまだ浸透していない医療でもあります。

そんな日本の鍼灸ですが、アメリカではIVFクリニックの多くが鍼灸を提供している、もしくは推奨しているといわれており、アメリカを代表するハーバード大学 Boston IVF においても鍼灸治療を積極的に導入しています。日本においても、高度生殖医療と鍼灸を併用する人は年々増えており、今後生殖領域において、鍼灸の役割は益々高まることと思います。

そこで、みなさんに鍼灸の事をもっと知っていただきたい私の想いから、特別講演では東京有明医療大学保険医療学部鍼灸学科 安野富美子先生に「女性のライフサイクルに応じた鍼灸ヘルスケア」についてお話いただきます。また、シンポジウムでは、「不妊チーム医療と鍼灸の役割」について現在クリニック内で鍼灸を行っている、若しくはクリニックと提携・連携している5名の鍼灸師に登壇いただき、現在の取組についてお話いただきます。また、会長講演としましては僭越ではありますが、「不妊カップルを支える鍼灸の役割」と題し私自身の取組についてお話させていただきたいと思います。

この学術集会を通じて、参加者の皆様の鍼灸の理解が少しでも深まれば幸いです。そして、皆様が患者様との会話のなかで鍼灸について質問を受けた際、鍼灸についてお伝できる学術集会にしたいと思います。皆様の参加を心よりお待ちしております。